

編輯室内外

燈火親しむべく筒編巻舒すべしと言はるる季節となつたが大陸の野に月星の下、銃聲に夢を破られたながら捨我の心境に在る兵士の中を湧き上る。銃後に在りて徒らに苦痛を嘗むることは却つて避くべきことであるが國運振張、時難克服の爲めには如何なる難業苦行も敢て之を忍ばなければならぬ。とはいへ之を他に求むることの嚴に於て自らに對して寛なることは絶対に許されぬことである、要するに官吏たる者軍人たる者庶民たるもの區別なく安りに治者被治者の差別的觀念を強調するが如きは全く之を制止し、新體制前進の爲めに萬民一如奉仕犠牲の均衡化に努むべきことである、近衛公發案の新體制實行綱領案を見るに曰く「一、八紘一字の皇謨に基き東亞の新秩序を建設し以て世界の平和の確立に寄與せんことを期す。一、國體の本義に基き舊來の積弊を芟除し庶政を一新し國家の總力を發揮しもつて國防國家體制の完成を期す。一、萬民おの／＼その職分に奉公し協力和衷戮力もつて大政翼賛の臣道を完うせんことを期す。と竟に此言の如くあらざるを得ない。

編輯室の内外

來ドイッに於て實驗濟の經濟政策を實施する、又「金」は將來歐洲通貨の基礎たる性格を失ふのであらう、ドイッは如何なる意味に於いても「金」に依存する通貨政策を執ることをせぬ」と金無用論を發表したて居るメリカまでも多大の衝動を與へられたて居る大日本青年團、大日本聯合女子青年團、大日本少年團聯盟、帝國少年團協會、大日本海軍少年團の五團體は「大日本青年團」を賛成したが其の指導は御役人仕事では、出版業者に依りて結成せられんとし經濟各團體も新體制に即應するの策を講じ基督敎、佛敎の宗教界でも各合同が議論から實行へと進んで來た、夫れにしても神社は宗教の對象であると獨斷的な言論は慎重に取扱はれたいものである。

達を庶幾ふものである。交通行政を新設し陸海空運行政を始め道路を整理し、通行政を監督行政をも新省の港灣を統制し、同省内に鐵道院、郵務院等を創設し、現業運送の完備を期することを大坂商會、之れも新政府當局へ建議したと傳へらるる。政治と戰爭の完全な一致が緊要である。現在の時局では軍が總ての中核となるべきである。と唱ふる論者がある、果して然らざるべからざるか又殺蟲劑の利かない溜除にボウフラを繁殖させて、徒らに蚊の驅除に手不足を訴へてゐる情態は、全く意味する言か。(九、二四、洗)

定價 一部 五十錢  
一ヶ年分 金六圓  
發行所 東京市麹町區霞關一丁目内務省内  
社団法人 道路改良會  
電話銀座(57)〇四二七  
發行所 東京市世田谷區代田壺丁目七八〇  
編輯者 小島 效  
印刷所 東京市小石川區諏訪町五六  
常磐印刷所  
印刷者 奈良直一